



今年の大倉山梅林の梅まつりはいいタイミングで満開を迎えました。季節は突然、冬から春という感じです。3月、4月は別れと出会いの季節。素敵な出会いがあるといいですね。

個個港学舎 舎長 八木貴子



モクレンとコブシ

3月、晴れた空を見上げると、街路や庭の木に白い花が咲いています。先に咲くのが「ハクモクレン」、少し遅れて「コブシ」の花で、見分けがつきにくいですが、その一番の違いはコブシには。花が咲いている時に、花の付け根に一枚の葉が付いていることです。ハクモクレンにはありません。もう一つ、ハクモクレンの花の芽は全部、首をもちあげて、上を向いていますが、コブシは枝の向きに逆らわず、横向きや下向きに芽が付いています。またコブシは漢方薬では辛夷(しんい)と言い鼻炎の薬として利用されます。

学習状況のお知らせ

進学、進級で大きな変化があります。春休みが短い人も多いですが、4月に向けて自信をつけたいですね。自分なりの春期学習を考えましょう。担当の先生や、私に相談してください。塾では、受験終了とともに、自習席に余裕がありますので、何度でも利用してください。ただし、事前に連絡が必要です。

桜梅桃李

桜梅桃李(おうばいとうり)とは、桜、梅、桃、李(すもも)のこと。いずれも独自の美しい花を咲かせることから、桜は桜の、梅は梅の、桃は桃の、李は李の特徴を改めることなく、生かしていくとの意味です。モモ以外はバラ科サクラ属で、4種の見分けはなかなか難しいです。

一番のポイントは、花柄(花を枝や茎につなげる細い部分)の長さとなります。桜の花柄は長いので、枝からこぼれるように咲いているものは「桜」で、枝にくっついているものは「梅」か「桃」か「杏」となります。

そのうち、「桃」が同じ場所から二個の花芽が出るのに対して、「梅」は一つずつの花芽。そのため、「桃」のほうが華やかで大振り。「梅」はすこし慎ましい印象となります。「梅」と「杏」の見分け方は困難ですが、「梅」のほうが若干枝より離れているようです。「杏」は、枝と萼(がく)の赤みが強く花びらも少し反り返っています。文字で説明するとかなり難しいです。

